

特別支援学級 数学科学習指導案

学級 総合学級 2 組 (男子 3 名)
 場所 総合学級 2 組 (3 年棟 1 階)
 授業者 教 諭 松 本 恭 知

- 1 単元 生徒 A・・・「10より大きい数」 / 生徒 B・C・・・「分数の足し算と引き算」
 2 題材 生徒 A・・・「2位数の意味と表わし方」 / 生徒 B・C・・・「分数の足し算」
 3 本時の実際

(1) 目標

ア 生徒 A

- ① 10のまとまりを作ることの良さに気付き、ブロックなどを用いて整理して考える。【考】
 ② 20までの数を正しく書くことができる。【技】
 ③ 「10といくつ」という表わし方で数を表せることを理解できる。【知】

イ 生徒 B・C

- ① 異分母分数の計算は分母をそろえることで計算できるということを考える。【考】
 ② 異分母分数の加法の計算の仕方を理解できる。【知】
 ③ 異分母分数の加法の計算ができる。【技】

(2) 展開

過程	時	生徒 A		生徒 B・C	
		主な学習活動	◎評価の観点 ○指導上の留意点	主な学習活動	◎評価の観点 ○指導上の留意点
導入	10	1 前時の学習を宿題の問題で振り返る。 ○ 宿題で前時の学習を復習させ、内容の定着を図る。			
展開	10	2 ブロックを使って10以上の数を数える。	○ ブロックの代わりにお金を使うことで日常生活に生かせるようにする。	2 異分母分数の加法の計算の仕方を、同分母分数の計算の仕方を基に考える。	◎ 同分母分数の計算と同じように単位をそろえれば計算できるということを考える。【考】
	10	3 お菓子やイチゴの絵とブロックを対応させて数を書き表す。	◎ 10のまとまりを作ることの良さに気付き、ブロックなどを用いて整理して考える。【考】	3 異分母分数の加法は、分母を同じにすれば計算できることに気付く。	◎ 異分母分数の加法の計算の仕方を理解できる。【知】
	10	4 「10といくつ」という見方で20までの数を表す	◎ 20までの数を正しく書くことができる。【技】	4 答えはできるだけ簡単な分数にすることを考える。	◎ 異分母分数の加法の計算ができる。【技】
終末	10	5 本時の復習と宿題を確認する。 ○ 宿題を通して本時の学習の定着を図る。			

(3) 評価

ア 生徒 A

- ① 10のまとまりを作ることの良さに気付き、ブロックなどを用いて整理して考えられたか。【考】
 ② 20までの数を正しく書くことができたか。【技】
 ③ 「10といくつ」という表わし方で数を表せることを理解できたか。【知】

イ 生徒 B・C

- ① 異分母分数の計算は分母をそろえることで計算できるということを考えられたか。【考】
 ② 異分母分数の加法の計算の仕方を理解できたか。【知】
 ③ 異分母分数の加法の計算ができたか。【技】